

12

基礎から学ぶ情報収集・活用力向上講座

～情報収集・分析の基本をマスターし、EBPMにつなげよう～



【講座のねらい】

日常業務として当たり前に行っている「分析とそれに付随する情報収集」について改めて見直し、そのうえで課題発見や改善の技術を身につけることにより、行政職員として必要な「企画提案力、分析力」を磨きます。

【受講の効果】

- ・情報収集・分析の基本を学ぶことで、企画力・問題解決能力の基礎固めができる。
- ・問題解決のための目的把握から分析までの正しい基本プロセスを習得できる。
- ・相手（県民・上司等）が求める情報を上手に収集し、表現する手法を体得できる。

◇日程・会場等

- ・ 日 程：令和7年10月8日（水）
- ・ 会 場：自宅、職場等
セミナーパーク 203 研修室
※セミナーでの受講は、ひとり一台パソコンによる受講ができない方に限定します。
- ・ 対 象 者：全職員
(義務受講対象：主事級、主任主事級)
- ・ 定 員：24人



こんな人におすすめ！

- 情報収集・分析の基本を知りたい人
- 相手に対し誤解がなく活用しやすい情報のアウトプットを実践的に学びたい人

◇プログラム（6.5時間） 完全オンライン研修（オンラインミーティングシステム Zoom を使用）

9:00	9:15	12:00	13:00	16:45
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報力とは <ul style="list-style-type: none"> ・情報と現代の情報の考え方 ・情報力向上のためには ・情報を疑う ● 情報読解を高める仮説思考 <ul style="list-style-type: none"> ・仮説思考力 ・仮説を立てながら情報を読む 	休憩	<ul style="list-style-type: none"> ● 根拠に基づいた情報活用 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な視点を持つ(利用可能性バイアス) ・情報とEBPM ・情報の入手方法 ● 情報の整理・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ピラミッドストラクチャー活用 ● 総合演習 <ul style="list-style-type: none"> ・「ランキングで見る県民性」の情報から県の今後のあるべき姿を描いてみる 	

※講座内容、研修の進め方は状況によって変更になる場合があります。

➤ EBPM (Evidence Based Policy Making) とは……証拠に基づく政策立案のこと。

【講師】

株式会社行政マネジメント研究所 専任講師 たがみ かずのり 田上 和徳



◇受講者の声

- 収集した情報をどのように集計したり読み解いたりすると良いのか、新たな視点を知ることができた。
- 1つの情報に対して見方を変えることで、問題を解決するイメージが学べた。